

変わったこと/変わらなかったこと
～自社とJASPICと産業界の20年の改善活動を振り返って～

(株)エーアンドエス・コンサルティング
安倍秀二

Ver0.2

自己紹介(あべしゅうじ)

- 1982年 松下電器産業(株)入社
民生品の研究開発、製品化を担当
- 2002年 SW-CMMを用いた組織のプロセス改善を担当
- 2005年 CMMIを用いた全社のプロセス改善を推進
- 2007年 車載開発組織のSEPGを担当
- 2008年 Automotive SPICEを用いたプロセス改善を開始
- 2009年 機能安全規格ISO 26262に出会う
以来、機能安全 Automotive SPICEについて
国内外の関連組織のプロセス構築、教育、アセスメントを実施
- 2017年 システム開発力強化推進
- 2018年 定年退職し「イーアンドエスコンサルティング」を立ち上げ、
機能安全・Automotive SPICE・システム設計に関連する
プロセス構築・教育・導入支援・アセスメントなどの支援を開始
- 2020年 法人化「株式会社イーアンドエス・コンサルティング」



日本SPIコンソーシアム(JASPIC)研究員、日本SPICEネットワーク(NSPICE)運営委員
その他、ソフトウェア開発力強化、機能安全規格関連の審議などに多数参画
Intacs Certified Automotive SPICE Principal Assessor

変わったこと/変わらなかったこと

変わったこと/変わらなかったこと

■ 変わったこと

- 対象は、民生品(2002～2007)から車載製品(2007～)に
- 担当は、日本/中国に加えてグローバル(星、米、独、西)に
- モデルは、SW-CMM～CMMI～Automotive SPICEに
- 改善対象は、ソフトウェアからシステムに
- ISO 26262によるSafetyを追加
- 国際規格により寄り添うアプローチへ

■ 変わらなかったこと

- モデルや規格を軸に現象を捉えること
- アセッサの視点でものを見る
- 改善担当者(プロセスを作る人)と現場の構造(プロセスを使う人)

変わったこと

- 対象は、民生品(2002～2007)から車載製品(2007～)に
 - より高い品質要求
 - エンジニアリング、ツール、手法など視野が広がった
- 担当は、日本/中国に加えてグローバル(星、米、独、西)に
 - 伝え方のスキルアップ～異文化への対応
- モデルは、SW-CMM～CMMI～Automotive SPICEに
 - モデルの抽象度が下がり、より具体的に
 - エンジニアリングにより注力～自身にエンジニアリングへの理解度が向上
- 改善対象は、ソフトウェアからシステムに
 - 製品全体を見られるようになった
 - 組み込み開発では、ソフトウェア開発の課題は、システム設計の課題が主要因
- ISO 26262によるSafetyを追加
 - 高信頼性開発の本質への理解が深まる
 - What～Howへ、具体的な活動
- 国際規格に寄り添うアプローチへ
 - 参照規格を通じて現場の現実を見る～PAMの解釈のブレを減らす
 - 15508, 12207, 29148, 42010, 24748, 25010

変わらなかったこと

- モデルや規格を軸に現象を捉えること
 - 現実の見方がぶれない
- アセッサの視点でものを見る
 - アクティビティ、プロセス間のつながりなどを通して現実を見る
- 改善担当者(プロセスを作る人)と現場の構造(プロセスを使う人)
 - 現場のプロセス軽視は変えることが難しかった

成功だったか？

変わったことのすべてが自身のスキルアップにつながり、現場へのサービスの提供レベルが改善された。



成功であった

これから変えたいもの

これから変えたいもの

変えたいよりは、広げたい
～世の中の流れに対応～

- サイバーセキュリティ(ISO/SAE 21434、UN R155)
- ソフトウェアアップデート(UN R156)
- アジャイル
- 他のモデルや国際規格

変革に役立つ能力とは？

変革に役立つ能力とは？

- 抽象化力
 - システム＞ソフトウェア＞ハードウェア
 - アーキテクチャ重視
 - モデル＞プロセス＞実装
- 俯瞰できる
 - QMを軸にして、安全属性としてのSafety、非機能としてのSecurity
- 裾野を広げる
 - 前向きさ
 - 何事にも興味を持つ
 - 学ぶこと～モデル/規格/コミュニティ

QM : Quality Management Process